

新入社員が入社し存続が危ぶまれたこのコーナー。「終わったらちょっと残念」とのお便りを頂き、タイトルに「元」の字が付きましたが継続が決定いたしました！これからも皆様からの応援に応えるべくお昼ご飯にまつわるエピソードを交えた記事を書き、読んでくださった方にクスッと笑っていただき、少しでも気持ちが上向いたと感じていただけたら、ありがたいです。こんな思いで再出発となったこのコーナーですが年末年始ぐらい今までと違った内容の記事、例えば高級料理を食べておいしかったとか、おしゃれな料理を食べて気持ちが華やいだとか書きたいのですが、そんな事は一切ありませんでした。例年通り。いつもと一緒に。ダラダラとテレビを見ておせち料理やお菓子を子どもと食べる。眠くなったら寝る。終始、まったりとした時間が流れている感じでした。いつもと変わらない、ただただ時間だけが過ぎていく。これもある意味では幸せなことだと思うのですが…。ちなみに一番、お正月だなあと感じたのは雑煮用の余ったおもちをカップ麺に入れてコタツで食べたときでした(笑)。



○ 坂 拓磨
○ 38歳 3児の父！

元新入社員！ 坂(パン)が昼ごはんにまつわるエピソードを綴る 昼だけどパンメシ！のコーナー



毎月20日に新聞折込しています!!

ドリーマー中村葬祭館

これを知って!!のコーナー

今後のイベント開催について



○山本 純子
○年齢 ♡歳

新型コロナ感染状況が一度落ち着いてきたこともあり、これまで開催を控えてきた終活などのイベントを再び開催する予定でした。しかし、新型コロナ変異種のオミクロン株による感染が各地で判明し、再び感染拡大の兆候を示しています。高知県内も数十日続いた新規感染者0人が先日、止まってから再び感染者が増えている状況です。今のところ感染が急増している状況(1/10 現在)ではないためイベント開催の再開予定に変更はありません。今までと同様もしくはそれ以上に消毒、職員の健康状態の管理を徹底して蔓延防止策を取りますが感染状況によっては延期など予定を変更することがあります。ご了承くださいませようお願い申し上げます。

今年の抱負



○小橋 潤也
○年齢 40歳

毎日の積み重ねに今がある。僕の好きな言葉の1つですがドリーマーに入社して、早くも半年。あっという間の半年のような気がします。まだまだ、たくさん覚える事が多く毎日が一生懸命です。早く仕事に慣れないと、とも思いますが僕は慣れと言う言葉があまり好きではなく、慣れるとミスが多くなるような気がします。気をはっている内は危険な作業をしても事故がおこらないと思います。気を抜いて作業をすると、どんなに簡単な作業でも事故がおこりやすいものです。だから、慣れとは怖いものだと思います。これからも仕事に慣れるのではなく、認めてもらえるように頑張っていきたいです。

復活！ わかったら答えを書いてハガキで応募！クイズのコーナー！

「明けましておめでとう！ 今年もよろしく」まだ恥じらいのある学生だった頃。好きだった男の子から届くかもしれない、ただただ普通の年賀状をワクワクして待っていたお正月。年賀状ひとつで大イベントになっていたのを懐かしく思い出すお年頃になってしまいました…。今は新年の挨拶をメールで済ますことも多く、学生の頃はこんな時代が来るとは思っていなかったのですが時代は変わりますね。ですがこのクイズは今年も変わらず、ちょっとだけ難しくてちょっとだけいじわるなクイズを目標に出題していきますのでよろしくお願いたします。ここでいきなり問題です。「スポーツ選手・アイドル・総理大臣 この中で本当に人気があるのは誰でしょうか？」答えがわかった方は郵便番号 787-0009 住所 四万十市佐岡 446 ドリーマー中村葬祭館かわら版 1月号プレゼント係までご応募ください。正解者の中から抽選で2名様にドトールコーヒー・オレンジケーキギフトセットをプレゼント。ここでヒントです。必要のない方は読まないでくださいね。「人気を別の漢字に変えてみると」がヒントです。答えがわかった方はドシドシご応募ください。お待ちしております。三が日の大半をコタツで過ごしてしまった横山奈歩がお届けしました(笑)。

テレビをつけても外出しても新年を迎えたという独特の雰囲気を感じると今年も一年、無事に過ごせそうです。誕生日を迎えて歳がまた一年よりお正月を迎えて感じる一年の方が感慨深いのは私だけでしょうか？一年の目標や計画を立てようと思わせるのは、やはりあの独特な雰囲気があるから。誕生日の抱負とはあまり聞きませんから。私の新年の抱負は「落ち着く」。もっとしていることができないので、もう還暦を過ぎていくのですが(笑)。

あとがきにかえて



○佐竹 健作
○空手三段のお掃除好き

重要！ 1.もしもの時あわてないように 事前にできる事

葬儀会社に事前相談をして見積をとる事をオススメします。私、山本は丁寧な敬語は苦手ですが幡多弁を駆使して一生懸命ご説明します。葬儀会社を比較して選択しておく。とても重要なポイントです。

2.事前にドリーマーと決めていたらドリーマーに電話(24時間対応)→担当者との打ち合わせ→担当者が見積を作成。この段階で大体の葬儀代金がでます。ここで予算が合わないようでしたら、再度ご希望に合うようご提案させていただきます。なのでご希望の金額でお葬儀が可能です。

新しい年を迎えまして最近めっきり寒くなりました。僕は人一倍寒がり朝が弱いので起きてから準備して車に乗り込むまでが、ひと仕事のように感じます。仕事が終わって家に帰ってもまずはこたつに入り体を温めてから行動して、時にはこたつで朝を迎えることもしばしば…。休日でも好きな魚釣りは寒さで少しお休み中です(笑)。一番、お魚が美味しい時期にもつたいないですが、寒さには勝てないです。では休みの日は何をしようかというもう1つの趣味である、ギターを弾きながら過ごしたりします。これなら温かい家の中で出来ますから、寒い外に出る必要もありません。早く冬が終わればいいなと思う日々です。現在、ドリーマー中村葬祭館のスタッフで僕だけが宿毛から通勤している訳なのですが毎日、中村宿毛道路(正式名称はこれで合っていますか？普段は高速と呼んでいます(笑))は通らず旧道(下の道と呼んでいます)を通って出勤します。旧道を通ると周りの風景が季節ごとによって変わっていくのがわかります。僕が入社した半年前の夏に比べると周りの景色も随分変わりました。雨が続きと土砂が崩れていたり、雪が続きと山が真っ白になっていたり。そんなちょっとした風景の変わり目を見ながら、出勤するのもまた楽しみの一つかなと思えました。違った風景を見られる冬も中々いいものかもしれないですね(笑)。



新人！小橋が出勤時にふと感じたことを語る
新コーナー「僕とフロントガラス越しの風景と日常」

